

第2回 開西中学校区 学校運営協議会(概要)

日時 令和元年10月25日(金) 18時30分～20時00分
場所 滝川市立開成中学校 開西スクエア

【司会進行 事務局校 教頭 松本 浩幸】

1. 開会の後、2.「会長挨拶」では、**水口 典一**会長からご挨拶がありました。
「コスモスデー(全市一斉地域参観日)に参観しました。積極的に授業に参加している姿を見ることができました。色々と学校に足を運ぶ機会が増えたので、学校の教育活動がさらによいものとなるよう、本日の協議会もどうぞよろしくお願いします。」
という内容のお話を頂きました。



水口 典一 会長挨拶

- 3.「校長挨拶」では、始めに、**西小学校の長谷川 孝**校長からご挨拶がありました。
「宿泊学習、学芸会……と行事が無事終了し、現在は、振興会の公開研究会（第三小学校・西小学校・江陵中学校）に向けて授業改善等に積極的に取り組んでいます。…評価のためにも、委員や市民の皆様ぜひご参加いただき、色々なご意見をいただければと思います。」
という内容のお話がありました。

次に、**開西中学校の橋本 展晴**校長からご挨拶がありました。
「本日は、コスモスデーにご参加ありがとうございました。9月7日の学校祭も無事終了しました。……前回の協議会の中で、評価項目の改善についてご意見をいただきました。臨時に会議を持ち討議すべきところではありましたが、滝川市4中学校区で共通に評価しているところですので、今回は、様式をかえずに評価していただくことをご了承願います。本日も積極的にご討議くださいますよう、よろしくお願い致します。」
という内容のお話がありました。

- 4.「出席委員の確認」を事務局が行いました。(2名欠席)
5.「報告事項」から、水口 典一 会長の司会で進行されました。事務局から、議案の通りの報告がありました。
6.「協議事項」では、まず始めに、(1)小中学校の授業参観の感想・意見交換が行われました。



<各委員から出された主な感想・意見>

協議の様子

・小・中1学級20数人程度の少人数で授業が行われており、授業風景・学習環境がとても素晴らしい。子どもも意欲的であり、教師の指導も充実している。	・ビデオを活用したわかりやすい授業の工夫や、学年によって教師の言葉遣いも工夫されていた。
・机を三角形に組み合わせた状態でグループ学習が行われていたり、コの字型で学習が行われていたりするなど、お互いの顔がしっかり見えた話し合いとなり、よく工夫されていて非常に素晴らしい。	・実技の授業で物づくりに取り組んでいた。素晴らしいことだと感じた。
・暖房が入っているところは、換気を適切に行っていくとよい。	・教師の説明が多い授業をイメージしていたが、教師と児童・生徒の垣根を越え、意見のやり取りが行われていた。先生と児童・生徒がとてもよい関係であることがわかる。
	・コスモスデーに際し、小学校は祖父母や家族の参加があるが、中学校の参加が少なかった。どうしたら参加を増やすことができるのだろうか。

次に、(2)上半期(前期)の教育活動及び学校評価(中間評価等)の報告・協議が行われました。

- ① **西小学校**からは、**穂山 拡希**教頭より別紙資料の通り、報告がありました。

<各委員から出された主な質疑応答・協議> ○ 質問 ◇ 見解 △意見

○	小学校の運動会や学芸会が縮小傾向にあることをどうとらえるべきか。
◇	小学校で「英語・外国語活動」の授業時数を生み出すために苦勞していることは事実である。西小学校では、色々と検討した結果、運動会を従来通り行い、学芸会は今年度から種目を減らし実施した。
△	今後、各行事の「ねらい」を明確にし、行事に要する時間等の検討を行うとともに保護者や地域にもわかりやすく発信していくことが必要である。

- ② 開西中学校からは、松本 浩幸教頭と橋本 展晴校長より資料の通り報告がありました。

<各委員から出された主な質疑応答・協議> ○質問 ◇見解 △意見

○	中学校の全国学力・学習状況調査における「質問紙調査」で、「自己肯定感」が低い。その原因や改善策、良いところを伸ばす方法等どのように考えているか。
◇	子どものよいところを教師が積極的に理解し、様々な場面で発信できるように取り組んでいる。その結果、互いに認め合おうとするよい風土が育ってきた。
○	小中学校で、子どもが朝食を食べないで登校する原因は、子どもにあるのか、家庭にあるのか。
◇	個々の子ども・家庭の状況によるものと思われる。学校としては、食育の観点から粘り強く啓発していきたい。
○	全体的に、中学校の様子が以前に比べて改善しているように感じる。
◇	授業に対する姿勢が変わってきたことが、学力向上に繋がっている。 また、生徒指導の質も変わってきた。不登校、目に見えないトラブル、いじめ問題等に対して、子どもたちに寄り添う指導がより大切になってきた。生徒指導上の課題が改善するにつれて、学力も向上しており、落ち着いた学校環境が子どもたちによい影響を与えているものと考えている。
○	中学生の携帯・タブレット・スマートフォンの所持率を把握しているか。
◇	全員ではないが、ほぼ9割以上の生徒が所持していると思われる。
○	家庭学習の習慣については、小学校時代の傾向が中学入学後も続くのではないかと複数校から中学校に集まる学校と一つの小学校からそのまま中学校に集まる学校との良さや盲点、影響の違いがあるのではないかと。
◇	テストの点数を数値化したり、順位を公表することによって意欲を高める取り組みをしている。
◇	小規模校は、中一ギャップはないが、高一ギャップはある。コミュニケーション力を高める取り組みが必要である。
◇	良い面を考え、小学校と連携を密にして、9年間で子どもを育てる取り組みを図っていきたい。
○	「縦割り」の取り組みは、子どもたちの発想なのか。
◇	色々な行事や生徒活動に取り組む場合に、子どもたち自身が「縦割り」の良さを自覚している。今後も、主体的に考え取り組む態度を身につけさせていきたい。

その後、(3)学校関係者評価の実施について、橋本 展晴校長より、提案があり、各委員より了承を得ました。1月下旬に、各小中学校で評価担当の委員が集まり、学校関係者評価を実施することとなりました。

△	学校関係者評価の実施項目について、学校の組織や教育活動の様子を詳しく知らなければ、的確に評価することは難しい。学校運営協議会の委員が、頻繁に学校を訪問することは困難である。次年度に向けて、改善点を話し合ってほしい。ぜひ、わかりやすい表現に改善してほしい。
---	---

最後に、(4)下半期(後期)コミュニティ・スクールの活動について、

- ①「開西中学校区学習強調週間」(試行)の実施について、議案通りの提案があった。地域全体でよい学習・生活習慣を啓発していきたい。
小学校については、現在検討中である。
- ②「今後のコミュニティ・スクールの活動」については、各委員からのアイデア等を事務局に伝えていくことを確認した。

7. 次回の日程、内容について、議案通りの連絡がありました。

8. 閉会の言葉



司会 松本浩幸教頭

予定通り、8時に終了しました。仕事等でお疲れのところではありましたが、委員の皆様の熱心な協議により、実りの多い会議となりました。ありがとうございました。